

①規格外や低未利用品の有効活用

JAS認証された国産有機農産物の規格外品を有効活用した 南瓜ペースト及びカレーフィリングの開発

有機農産物の規格外品を有効活用し、小ロットでも製造可能な南瓜ペースト、カレーフィリングを開発・販売する。

連携体

農林漁業者 (有)箱根牧場(農業)

有機農産物を生産し、南瓜ペースト・カレーフィリングの製造に合わせた一次加工を行う。

中小企業者 (有)平沢製館所(食料品製造業)

小ロットでも製造可能な南瓜ペーストとカレーフィリングを開発し、中小製パン業者へ販売をする。

連携参加者

(株)北海道箱根牧場(飲食料品卸売業)、早坂 之男、酒井 良信、河端 政雄(以上、農業)、北海道立食品加工研究センター

マーケティング支援、一次加工の技術指導、不足時に有機農産物の供給を行う。

サポート機関等

地域活性化支援事務局

連携の経緯

(有)平沢製館所は、有機農産物を活用した商品開発を目指していたが、有機農産物を安定的に供給できる企業がなく、実現できずにいた。

一方、(有)箱根牧場は、自社圃場から多く生産される有機農産物の規格外品の活用を模索していたことから、両者が連携して新商品開発・販売に取り組むこととなった。

連携に当たっての課題や工夫等

(有)箱根牧場は、原材料を均一の品質で、かつ、安定的に供給するため、農産物の洗浄、皮むき、カットなどの一次加工技術を確立させる。

(有)平沢製館所は、原材料本来の味のまま、小ロットでも製造できる技術を確立する。また、販路開拓にあたっては、既存の取引先への販売のほか、有機農産物に関心の高い個人製パン店に新規開拓を図る。



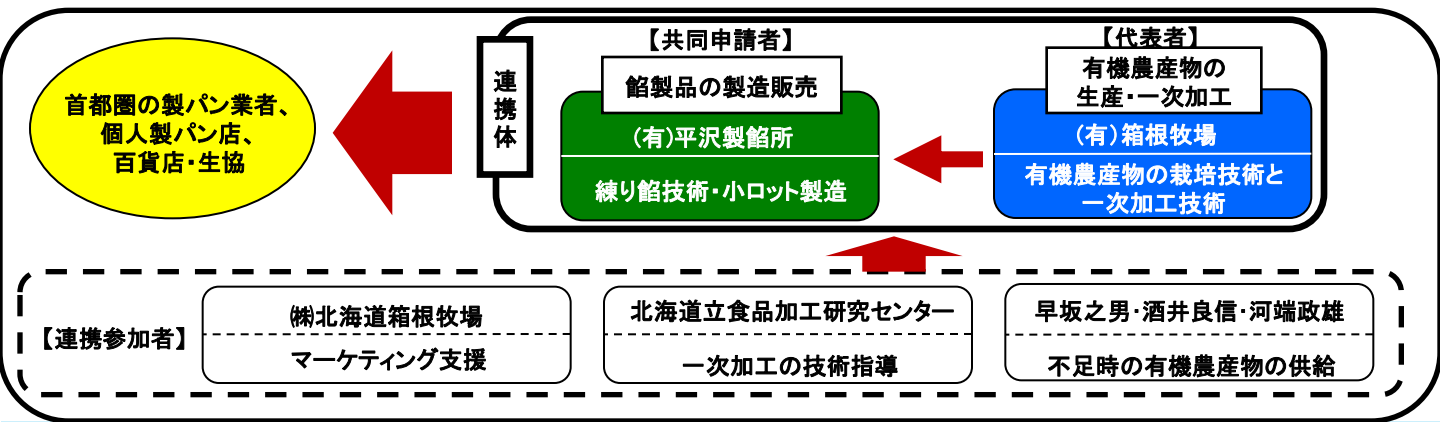
規格外の南瓜



カレーフィリング



南瓜ペースト



連携による効果

農林漁業者 4年で約1,830万円の売上高増加、規格外有機農産物の有効活用

有機農産物の規格外品を有効活用することにより、売上増加と有機農産物の認知度向上が期待される。

中小企業者 4年で約2,600万円の売上高増加、新規の独立製パン店の顧客拡大

新商品を開発し、既存取引先のほか、個人製パン店など新規販路を開拓することで売上増加が期待される。

代表企業等の連絡先

企業等名：有限会社箱根牧場
TEL：0123-21-3066
E-mail：hakone@topaz.ocn.ne.jp

所在地：北海道千歳市東丘1201番地
FAX：0123-21-3758
ホームページ：http://www.hakonebokujo.com